

# 令和元年病害虫発生予察指導情報

## 対象病害虫：ナシ黒星病

令和元年6月27日  
鳥取県病害虫防除所

表1 ナシ黒星病巡回調査結果（6月12、13、14日調査）

地区名		発病葉率 (%)		発病果率 (%)	
		本年	平年 <sup>1)</sup>	本年	平年 <sup>1)</sup>
東部	久末	4.7	0.8	0.7	0.2
	佐治町①	0.5	0	0	0.1
	佐治町②	0	0.2	0	- <sup>3)</sup>
	青谷町	0	- <sup>2)</sup>	0	- <sup>2)</sup>
	八頭町	0	1.5	0	0.3
中部	湯梨浜町	0	0	0	0
	倅谷	0.5	0	0	0
	関金町	5.2	2.2	1.3	1.1
	北栄町（園試）	0.5	0	0	0
	琴浦町	0	0.1	0	0
西部	大山町	0	2.3	0	0.2
	淀江町	0	0.6	- <sup>3)</sup>	0.2
	南部町	0	0	0	0
平均		0.9	0.6	0.2	0.2

注) 1) 調査地点により調査年数が異なるため、H21～30年の期間のうち2年以上（最大10年）の調査結果をもとに平年値を算出した。

2) 令和元年度から調査園を変更。

3) 被袋済であり、調査が行えなかった。

- ・ 1圃場当たり300果、30果そのの全葉を調査
- ・ 調査対象はすべて赤ナンである

**【概要】** ・ 果そう葉における平均発病葉率は0.9%（平年：0.6%）と平年並であった。

・ 果実における平均発病果率は0.2%（平年：0.2%）と平年並であった。

**【対策】** ・ 発病した葉及び果実は取り除き、園外で処分する。

・ 多発園では、DMI剤（アンビルフロアブル、スコア顆粒水和剤など）の追加防除を検討する。ただし、多発時のDMI剤の使用は耐性菌発達リスクを高めるため、春季からのDMI剤の総使用回数が2回以内の場合に限って使用し、単用散布は行わない。その他の追加防除薬剤には、ベルコートフロアブルや有機銅水和剤（キノンドーフロアブルまたはドキリンフロアブル）などがある。